

授業科目名 <英訳>		文献評価法 Critical Appraisal				担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 中山 健夫 医学研究科 准教授 高橋 由光 名古屋第二赤十字病院 副院長 野口 善令 三重県立一志病院 院長 四方 哲 奈良医科大学附属病院 田中 優 中央手術部 学内講師 東京都健康長寿医療センター 石崎 達郎 研究部長			
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2017・ 前期集中	曜時限	前期後半：月4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
<p>・臨床研究を含む社会健康医学（パブリックヘルス）領域において、基本的なスキルの1つである文献の評価方法について講義を行います。</p> <p>・疫学・EBM（根拠に基づく医療）の知識をもとに、各種の健康・医療情報を検索し、適切に評価した上で利用する方法を学習します。</p> <p>教育・学習方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントスライドによる講義と実習 ・一部グループワークあり 											
【到達目標】											
得られた文献・情報を批判的に吟味し、主体的に活用する能力を習得する。											
【授業計画と内容】											
第1回 4月10日オリエンテーション（中山・高橋） 第2回 6月12日CASPによる臨床試験論文の評価（中山） 第3回 6月19日コクラン共同計画によるコクラン・レビューを通して（田中・中山） 第4回 6月26日ケースを用いたバイアスの評価（1）（石崎） 第5回 7月3日 ケースを用いたバイアスの評価（2）（石崎） 第6回 7月10日CASPによるメタアナリシス論文の評価（中山） 第7回 7月24日AGREE法による診療ガイドラインの評価（中山） 第8回 7月31日（4・5限）メタアナリシスセミナー（野口・四方・田中・中山）											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
毎回の小レポート（30%）および課題レポート提出（70%）											
【教科書】											
講義資料は配布											
【参考書等】											
（参考書） 中山健夫，津谷喜一郎編著 『臨床研究と疫学研究のための国際ルール集』（ライフサイエンス出版）											
----- 文献評価法(2)へ続く -----											

文献評価法(2)

Hennekens CH, Buring JE 『Epidemiology in Medicine』 (Little Brown & Co) (1987)
Michael M, Boyce WT, Wilcox AJ. Biomedical Bestiary 『An Epidemiologic Guide to Flaws and Fallacies in the Medical Literature』 (Little Brown & Co) (1984)

[授業外学習 (予習・復習) 等]

予習より復習に時間を取ること

(その他 (オフィスアワー等))

EBMや疫学の基礎知識を学びながら、社会健康医学の学習・研究を進める基礎として、系統的な文献評価法の習得を目指します。

人間健康科学系専攻学生の受講可否： 可

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。